Living the LOTUS
Buddhism in Everyday Life
1
2017
VOL. 136

開祖随感

拝み続ける人

信仰も慣れが出てくると、形だけ立派でも心が伴わなくなりがちです。

手を合わせて形は相手を拝んでいても、心の中で、「この人は、人の言うことにいちいち反発する困った人だ」などと思っていたのでは、相手は心を開いてくれません。

法華経には、常不軽菩薩の礼拝行が説かれています。常不軽菩薩は、どんな人であろうが「この人は仏性を具えていて、必ず仏になる人だ」と、もう、ぜったいに信じきって拝み続けるのです。

ですから、石を投げつけられても、杖で打ちかかられても、「あなたがどんなことをしようと、私は、あなたを信じて疑いません。あなたは仏になる人だからです」と拝み続ける。相手がどんなむちゃを言おうが、まったくおかまいなしです。文字どおり、拝み倒すのです。

そういう人に出会うと、人は降参するしかないのですね。心の奥の奥に眠っている、けがれのないきれいな心がほとばしってくるのです。

開祖随感 9 P. 132-133

Living the Lotus
2017年1月号（Vol.136）

【発行】立正佼成会 国際伝道部
〒166-8537
東京都杉並区和田2-6-1 普門館5F
Tel: 03-5341-1124
Fax: 03-5341-1224
E-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 水谷庄宏
編集チーフ: 金尾江利子
校閲者: 吉田晃一郎
編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に開祖庭野日敬、脇祖長沼妙佼によって創立された、法華三部経を所依の経典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。
現在は庭野日鑛会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life（法華経を生きる～生活の中の仏教）というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かせる仏教の教えをインターネットで配信します。

会長
法話

地道に、淡々と

立正佼成会 会長　庭野日鑛

大自然に学ぶ

「一年の計は元旦にあり」といいます。年の始めに「今年はこのような一年にしよう」と胸に期すれば気持ちが引き締まり、さわやかに一年のスタートをきることができます。

ところが、元日に決めたことですら、三日もたつと忙しさに紛れて忘れてしまうのです。そこには、努力の積み重ねよりも成果に重きを置く心や、新たなことにとりくむ余裕のなさがあるのかもしれません。

「元日の雪といへども卸さねば」（広中白骨）の句が示すように、どのようなときでもなすべきことをていねいに行なう心のゆとりと落ち着きをとり戻すことが、いま私たちには必要なのではないでしょうか。時間に追われ、効率や成果にふり回されることなく、地道に、淡々とやっていく。そこに人間らしい生活やほんとうの幸せがあるように思うのです。

なにごとも急がず息まず、循々と行なっていくなかに、人としての成長があるのだと思います。

「ゆつくりとゆつくりと柿干柿に」（岩崎俊）は、自然のはたらきに重ねて私たちの生き方を考えさせられる句ですが、ほんとうに成熟した人間の味わいは、小さなこともおろそかにしない日々の地道な営みによって育まれるものなのでしょう。

ところで、一月といえば正月飾りにも使われる可憐な福寿草が思い浮かびます。詩歌が並んだこの機会に、福寿草にちなんだ歌も一つご紹介しましょう。「天地の和して一輪福寿草　さくやこの花幾代経るとも」（二宮尊徳）。天地自然は淡々と時を刻み、やがて真理のはたらきが和するとき、花はおのずから開くというのです。ここにも、地道に淡々と生きることの大切さを示す教訓があります。

志を立てる

目先の損得に左右されず、落ち着いて淡々と、着実になすべきことをなす。そのように生きることができればいつも心穏やかでいられ、人間としての向上も期待できそうです。しかし、胸に期したことを継続すること一つとっても、それがとても難しいのが私たちの実際かもしれません。地道に淡々と生きるという意味では、釈尊もそのお手本の一人だと思いますが、そうするとますます特別な才能や気質を具えた人にしかできないことのように思えてきます。

仏道修行で大切なことは何かと聞かれた道元禅師は、「仏道を学ぶのに才能は必要ありません。志を発して自分の分に随って学道に努めれば、必ず仏法を得ることができます」といいきっています。ただし、「欣求の志の切なるべき」、つまり、つねに、そして繰り返し求める気持ちが大切だというのです。あれをしよう、これをしようと一念発起したつもりでも、そのもととなる「切実な志」がなければ長つづきしないということでしょう。

見方を変えれば、志に随っていま目の前にあることの一つ一つにていねいに向きあえば、その歩みはたとえ地道ではあっても、必ず実を結ぶということです。また、志があればものごとに一喜一憂しない余裕が生まれるので、落ち着きのある淡々とした生き方にもつながるはずです。

ただ、志に基づく実践といっても、人それぞれ、まさに分に随ってどのようなことでもいいのだと思います。

道端のゴミを拾う、「足るを知る」を心がける、三つの実践としていつもお話しする「朝のあいさつ、ハイの返事、履物を揃える」というのもいいでしょう。身近でできることを地道にこつこつと、できれば目立たぬように淡々と実践することなのです。

お互いさま、一日一日を大切にし、年の終わりには楽しい嬉しい一年にいたしましょう。

『佼成』2017年1月号より

Spiritual Journey

苦を宝にして、悦びを伝えよう

在家佛教韓国立正佼成会
池玉粉

この体験説法は、2016年8月23日に在家佛教韓国立正佼成会で発表されたものです。

私は現在、主任のお役をさせていただいております。1949年、7人兄弟の3番目として産まれました。結婚後は2人の息子に恵まれました。次男はすでに結婚して家を巣立ち、現在は主人と長男の3人で暮らしております。今年76歳になった主人は、アパートの管理人をしながら、公民館で村会長のお役をしております。おかげさまで主人は健康に恵まれているのですが、私は頭痛持ちで、佼成会とご縁になったのも、耐えられないほどの頭痛がきっかけでした。

ある日、原因の分からない頭痛が起こり、その痛みは日増しにひどくなりました。じっとして居られないほどの頭の痛みに苦しみ、どの医者にかかっても治りません。私は治療法を求めて病院を転々としました。しかし、西洋薬と漢方薬を同時期に服用したことが原因で黄疸が発症し、肝臓病で生死の境をさまよったこともありました。ある人から家の敷地が悪いと言われて、引っ越しもしました。

韓国立正佼成会で説法をする池玉粉さん

そのようななか、私は1993年の秋、近所に住む李主任さんに導かれ、初めて韓国立正佼成会へお参りさせてもらいました。けれども、そのときの佼成会の印象はあまりよくありませんでした。韓国のお寺とは建物も雰囲気もあまりに違っていたので、信仰をする気持ちになれず、いただいたお数珠を家に帰る途中、ゴミ箱に捨ててしまったほどです。

しかし、当時の支部長さんはその後、何度も私の家に手取りに来てくださいました。前教会長さんから「信じて行ずれば、必ずよい結果が出ますよ」とお言葉をいただき、私は100日間の祈願供養と法座修行を始めることにしました。頭痛を治したい一心で毎日、韓国教会へ通いましたが、法座で自分とは関係ない悩みを聞くことがとても嫌でした。しかし一日も欠かすことなく、私は100日間の修行をまっとうすることができました。

毎月の朔日参りと先祖供養もさせていただきました。その結果、頭の痛みはなくなりませんでしたが、私はいま生きていること自体に感謝させていただくようになっていました。そんなある日の法座のことです。前教会長さんの結びの言葉が私の耳から心に少しずつ浸透し、体調がよくなっていくのを実感したのです。

頭痛のおかげさまで佼成会とご縁を結び、法座で学んだことは私の宝ものとなりました。前教会長さんが「私たちは無常のなかで生かされ、いま生きているの

が何よりもありがたい」「すべては自分」「自分が変われば相手が変わる」と教えてくださいました。私たちが日常生活のなかで学んだことを実践できるように、ときにはやさしく、ときには厳しく教えてくださいました。

佼成会の教えを知る前の私は、自己中心で「自分が正しい」と強く思っていました。自分の思いや考えを通そうとして思い通りにならないと、怒っていました。頭痛の影響もあって、主人と子どもたちはいつも私を気遣い、私に合わせてくれていました。そんな家族の思いにも気づかずに私は過ごしていたのです。もしも、佼成会の教えと出会わなければ、おそらく私は家族に感謝することも知らずに生きていたでしょう。

8歳年上の主人と結婚したのは、私が23歳のときです。結婚と同時に姑との同居が始まり、嫁姑の葛藤が始まりました。姑は勝気な人で、人に負けるのが大嫌いな人でした。気にいらないことがあれば争い、近所でケンカがおこるとその場にはいつも姑の姿がありました。家庭内で争いが起こると、私たち夫婦が姑に土下座して謝るまで、姑の怒りが収まらないこともありました。

さらに姑は、漬けておいたキムチを私に無断で近所へ配り、私が家を空けていると村の人を呼んで宴会をしたりするのです。いまの私でしたら、姑に「近所の人たちに親切にしてあげて、本当にご苦労さま!」と、労いの言葉をかけられますが、当時は姑のすることにとても腹が立ちました。

また、姑はいつもツケで買い物をするので、月末になると私が近所の商店へ支払いに回っていました。そんな姑を主人はとても大切にしていました。姑に毎日おやつを買って帰り、姑が魚を食べるときには骨をきれいに取って、食べやすいように白身だけをご飯の上にのせてあげていました。

私が「姑の態度に耐えられない」と、主人に不満を訴えると「そんなに大変なら、自分と別れて新しい人生を歩んだらどうだ!」と突き放されてしまいました。実家の母に相談すると「我慢しなさい」と言われましたが、本当は実母はとても心配し、「実家へ戻ってきて欲しい」と願っていたそうです。

私が長男を妊娠したとき、ストレスから妊娠中毒症になり、家族が病院に集まりました。その場で、医師から「赤ちゃんかお母さんか、どちらか一人のいのちしか助けられません。どうしますか?」と選択を迫れたそうです。そのとき姑は「嫁を放棄する」と言って、実家の母と大ゲンカになったと後で聞きました。「今後、出産は無理です」と医師から言われましたが、私は無事に次男を産むことができました。

長男が5歳、次男が3歳のときのことです。主人の事業がうまくいかなくなり、私も働きに出るようになりました。仕事を始めても家事や子どものおやつの準備まで完璧にこなしていたので、心のなかでは「姑の世話になっていない」との自負がありました。

そんな姑も83歳になると、老人性の病で寝たきりになりました。主人は最善をつくして介護しました。私も姑に尽くしましたが、それは「嫁としての義務を果たそう」という気持ちからの行為でした。ですから、姑が他界したときには正直、「親孝行は十分にした。これからは自由になれる」と思いました。しかし、いま仏さまの教えを学んで気づかせていただいたことは、姑の気持ちを理解しようと思っていなかったということです。

姑は39歳で夫を亡くし、3人の子どもを連れて北

朝鮮から韓国へ避難してきました。戦後の悲惨な状況で、女ひとりで幼い子どもたちと生き残るには、気性が激しくならざるを得なかったのだと、姑の思いが少しわかりました。主人は、姑が仏さまに祈って授かった長男でした。主人の父親は7歳のときに亡くなったそうです。幼いころから、子どもを守るために苦労を重ねている母親を見ていますから、とても大切にしていました。主人の親孝行ぶりは近所で評判になるほどでした。

主人はいま、自分の母親に尽くしたように、今度は妻の私を大切にしてくれます。怒りで頭がいっぱいだった以前の私は、そんな主人のやさしさに思い至らず、姑にやきもちをやいていたのかもしれません。この場をお借りして姑にサンゲさせていただきます。また、私のことをいつも案じて応援してくださった実家の母に感謝し、心配をかけた親不幸をお詫びします。

2016年4月、韓国立正佼成会を会長先生がご訪問くださいました。先生のお徳のおかげさまで、私の地区では10体のお導きがありました。新しく入会された方たちはいろいろな信仰経歴をお持ちですが、皆さんの悩みはほとんど子どものことでした。佼成会へ入会し、お祀り込みをしたとたん、仏さまがたくさん方便を出してくださいました。

ある方は、息子さんがよい所へ就職でき、ある方は息子さんが昇進しました。また、貸していたお金が返って来たなど、毎日のようにありがたい報告を会員さんからいただきました。そして、佼成会のサンガは、「家族のように温かく寄り添ってくれる」と、入会された方から喜ばれました。

仏さまの教えを素直に実践される皆さんの姿から、私はいつの間にか素直さを忘れていたと反省しました。導きの子どもたちが、教えに対する感謝と真理をしっかり認識する大切さを私に教えてくださっています。今、私には一人ひとりが尊く見えます。皆さんと同じ町に住んでおりますので、いつも私を見ていてくださるのです。ですから、これからも私が教えを生活で実践する後ろ姿を皆さまに見ていただくことを、この場でお誓いいたします。

2016年5月には、東京にある本部で第4回世界僧伽結集団参がありました。そこで皆さまから真心の込もった受け入れをしていただき、国籍などの違いを超え同じ教えの道を共に歩むサンガとして、多くの方々と温かい交流を深めました。とてもありがたい経験として、いまでも心に残っています。

私は、これからも多くの人にこのすばらしい教えをしっかりお伝えし、共に幸せになれるよう努力、精進させていただきます。

ありがとうございました。

主任となり、いまでは導師のお役も見事に務める

Living the LOTUS

Child Care lifeline

死について質問する子どもに何と答えていいかわかりません

Q 近ごろ、殺伐とした事件が多いのですが、小学４年生になった10歳の娘は、学校やニュースで、そうした話を耳にするためか、「死ぬとどうなるの？」「なぜ、人を殺すの？」などといろいろな質問をしてきます。私は、「子どもは、そんなこと気にしなくてもいいのよ」と答えてしまうのですが、このようなときにはどんな話をしたほうがいいのでしょうか？

A 親子で「いのち」や「死」について話し合うよい機会ができましたね。せっかくのチャンスをつぶさないで、むしろ「あなたは、とってもいいところに気がつくのね。死ぬってどういうことかしら？なぜ、人を殺すんだろうね？お母さんと一緒に考えようか」と言ってあげてください。

この質問に対する本質的な答えを話そうと思うと難しいのですが、質問にとらわれず、娘さんが生まれたときの喜びや一緒に暮らせる幸せ、身近な人が亡くなったときの悲しさやご先祖さまがいつも見守っていてくれることなどを話してみてはどうでしょうか。

大切なのは、この問いをきっかけに、「いのちの尊さ」「いま生きていることのありがたさ」「お母さんが子どもをどんなに愛しているか」を伝えてあげることだと思うのです。それだけでも、「いのちは大事なものだ」と思える子どもになるのではないでしょうか。また、「尊いいのちだから、今日一日、精いっぱい、友だちと仲良くしようね」そして「人のため、社会のためになる人間になることが大事よ」と、人と調和する心、社会に奉仕する心を話してあげられるといいですね。

できれば、お墓参りやお正月の初詣のときなどにも、「目には見えないけれど、ご先祖さまや仏さまが私たちを守っていてくれるのよ」と話してあげてはいかがでしょうか。子どもが目に見えないものに対する畏敬の念を持つことは、とても大切だと思います。こうしたことを子どもに伝えるのも親の大きな役割ではないでしょうか。

Point　いのちの尊さを語る

人は心に響いたことしか心に残っていきません。この年頃に親子で語り合ったことは、大人になったときにふと思い出され、心の支えになるはずです。尊いいのち、誕生したときの喜びを愛情こめて伝えてみましょう。

（回答：東京家庭教育研究所）

協力：東京家庭教育研究所

〒166-0012　東京都杉並区和田1-5-12
電話 03（3381）0705
FAX 03（3381）0723
http://www.kateikyoiku.jp/

東京家庭教育研究所は、「親が変われば子どもが変わる」という教育原理に基づいて、各地で講演会・講座を開催、また子育ての相談に応えています。多くの方が、「子どもに学ぶ家庭教育」を学び、たくさんの幸せな家庭が誕生しています。

いのちの不思議

お子さんの問いかけは本当に素晴らしいですね。お子さんが疑問を持ったときが何よりの学びと成長のチャンスです。そして同時に、親自身がいのちの尊さについて学ぶ大切なときでもあります。

会長先生は『こころの眼を開く』で次のように教えてくださっています。

「画家の佐藤勝彦さんが、このような詩を書かれています。『ふしぎふしぎ　ここに生きて呼吸して手動いて考えて泣いたり笑ったりなんという不思議ないのちもらったんだろう』（佐藤勝彦『かつひこいろはうた「らくになろや」』）　（中略）

よく考えてみると、人生はほんとうに不思議だと思います。私たちは両親によってこの世に命を授けてもらいました。けれども、それはただ単に両親だけの力ではなく、目に見えない『大いなる力』によってこの世に誕生したのです。このこと一つとっても不思議というほかありません。

この詩のように日ごろの生活のなかに不思議なこと、ありがたいことを探して、数え上げてみることが大切ではないでしょうか。生きていること、無意識に呼吸していること、あれこれと人のことを心配し、手をとり合って、泣いたり笑ったりする。それはもう、何もかも不思議そのものです」。

まず、親子でいのちの不思議について語り合うことから始めてみましょう。お子さんの感性にハッとさせられる気づきが得られるかもしれません。

（立正佼成会習学部監修）

Please give us your comments!

Living the Lotus では、 皆さんのご意見・ご感想を募集しています。
お問い合わせは、 以下の E メールアドレスにお願い致します。
E メール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

Director's Column

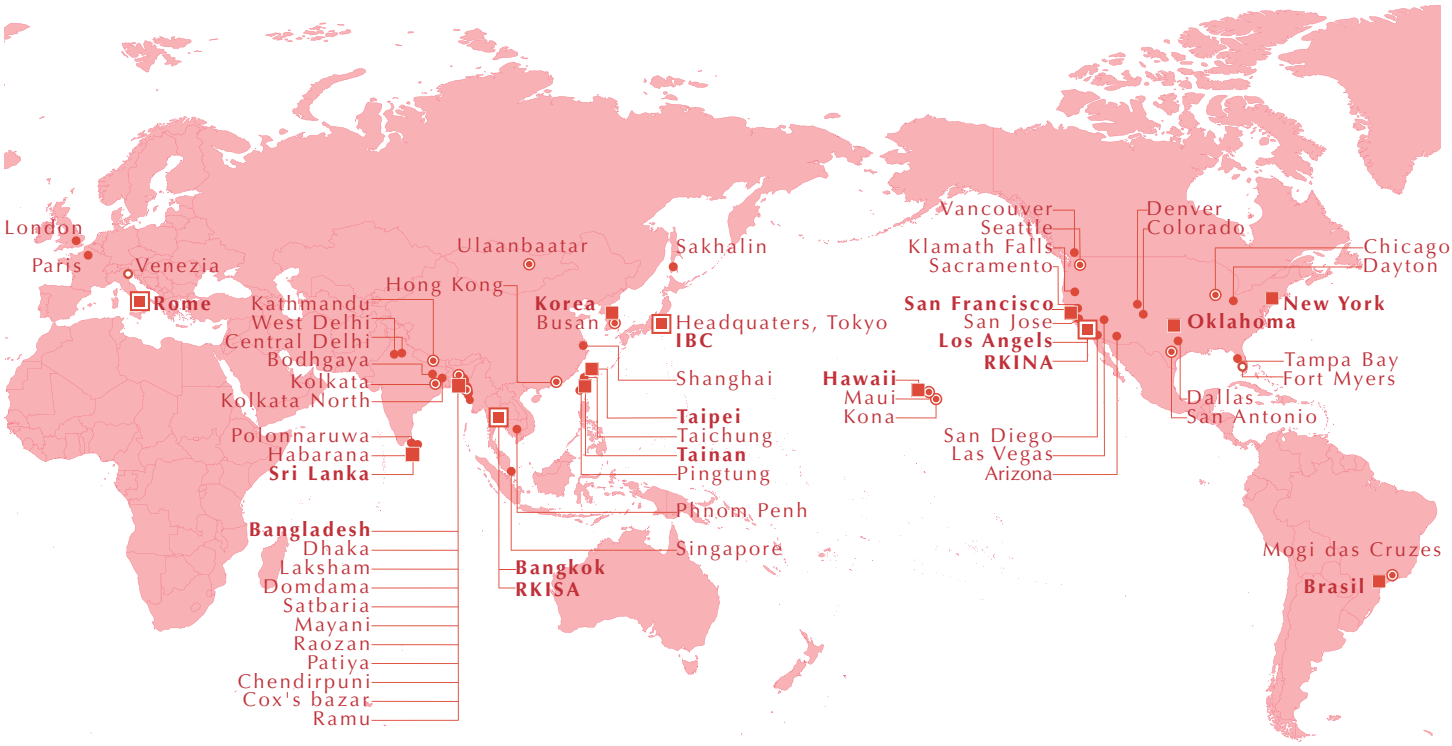
新年の志

皆さま、明けましておめでとうございます。新たな年を迎えました。新年を迎えると手帳もカレンダーも新しくなるように、心も新しくなった気がします。「自分はどんな人生を送りたいのか？」「そのためにこの一年は何を目指すのか？」「そして何を為すのか？」新年は、この大事なことを振り返り、考える尊い機会のように思います。

すべては私への、仏さまの尊いお説法。これが法華経のとらえ方です。美しい地球の上でいまも流されている涙や血は、私の懈怠の心を覚醒します。自国第一主義を唱える政治家に希望を見出す人々の情念は、諸法無我に気がつかない私の無明に重なります。

新年を迎え、私は自分自身の三つの人生テーマへの決意を新たにさせていただきます。それは「地球レベルの仏教伝道」「私の国、日本を菩薩大国へ」「自己の仏道精進」です。そして全人類の平和と幸福をめざします。本年も皆さまと共に精進させていただきたいと思います。

国際伝道部部長
水谷庄宏



RISSHO KOSEI-KAI INTERNATIONAL BRANCHES

Rissho Kosei-kai Overseas Dharma Centers 2017

Rissho Kosei-kai International
5F Fumon Hall, 2-6-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 *Fax:* 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)
2707 East First Street Suite #1 Los Angeles
CA 90033 U.S.A
Tel: 1-323-262-4430 *Fax:* 1-323-262-4437
e-mail: info@rkina.org http://www.rkina.org

Branch under RKINA

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center
28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, U.S.A.
Tel: 1-253-945-0024 *Fax:* 1-253-945-0261
e-mail: rkseattle@juno.com
http:// www.buddhistLearningCenter.com

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio
6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, U.S.A.
Tel: 1-210-561-7991 *Fax:* 1-210-696-7745
e-mail: dharmasanantonio@gmail.com
http://www.rkina.org/sanantonio.html

Rissho Kosei-kai of Tampa Bay
2470 Nursery Rd.Clearwater, FL 33764, USA
Tel: (727) 560-2927
e-mail: rktampabay@yahoo.com
http://www.buddhismtampabay.org/

Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii
2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, U.S.A.
Tel: 1-808-455-3212 *Fax:* 1-808-455-4633
e-mail: info@rkhawaii.org http://www.rkhawaii.org

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center
1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, U.S.A.
Tel: 1-808-242-6175 *Fax:* 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center
73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, U.S.A.
Tel: 1-808-325-0015 *Fax:* 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles
2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.
Tel: 1-323-269-4741 *Fax:* 1-323-269-4567
e-mail: rk-la@sbcglobal.net http://www.rkina.org/losangeles.html

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco
1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, U.S.A.
Tel: 1-650-359-6951 *Fax:* 1-650-359-6437
e-mail: info@rksf.org http://www.rksf.org

Rissho Kosei-kai of Sacramento

Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York
320 East 39th Street, New York, NY 10016, U.S.A.
Tel: 1-212-867-5677 *Fax:* 1-212-697-6499
e-mail: rkny39@gmail.com http://rk-ny.org/

Rissho Kosei-kai of Chicago
1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, U.S.A.
Tel : 1-773-842-5654
e-mail: murakami4838@aol.com
http://home.earthlink.net/~rkchi/

Rissho Kosei-kai of Fort Myers
http://www.rkftmyersbuddhism.org/

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma
2745 N.W. 40th Street, Oklahoma City, OK 73112, U.S.A.
Tel & Fax: 1-405-943-5030
e-mail: rkokdc@gmail.com http://www.rkok-dharmacenter.org

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Klamath Falls
1660 Portland St. Klamath Falls, OR 97601, U.S.A.

Rissho Kosei-kai, Dharma Center of Denver
1571 Race Street, Denver, Colorado 80206, U.S.A.
Tel: 1-303-810-3638

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton
635 Kling Dr, Dayton, OH 45419, U.S.A.
http://www.rkina-dayton.com/

Risho Kossei-kai do Brasil
Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP,
CEP 04116-060, Brasil
Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377
Fax: 55-11-5549-4304
e-mail: risho@terra.com.br http://www.rkk.org.br

Risho Kossei-kai de Mogi das Cruzes
Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP,
CEP 08730-000, Brasil
Tel: 55-11-5549-4446/55-11-5573-8377

Rissho Kosei-kai of Taipei
4F, No. 10 Hengyang Road, Jhongjheng District, Taipei City 100, Taiwan
Tel: 886-2-2381-1632 *Fax:* 886-2-2331-3433
http://kosei-kai.blogspot.com/

Rissho Kosei-kai of Taichung
No. 19, Lane 260, Dongying 15th St., East Dist.,
Taichung City 401, Taiwan
Tel: 886-4-2215-4832/886-4-2215-4937 *Fax:* 886-4-2215-0647

Rissho Kosei-kai of Tainan
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan
Tel: 886-6-289-1478 *Fax:* 886-6-289-1488

Rissho Kosei-kai of Pingtung

Korean Rissho Kosei-kai
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea
Tel: 82-2-796-5571 *Fax:* 82-2-796-1696
e-mail: krkk1125@hotmail.com

Korean Rissho Kosei-kai of Busan
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea
Tel: 82-51-643-5571 *Fax:* 82-51-643-5572

Branches under the Headquarters

Rissho Kosei-kai of Hong Kong
Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road,
North Point, Hong Kong,

Special Administrative Region of the People's Republic of China
Tel & Fax: 852-2-369-1836

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar
15F Express tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
Tel: 976-70006960
e-mail: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Sakhalin
4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk
693005, Russian Federation
Tel & Fax: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai di Roma
Via Torino, 29-00184 Roma, Italia
Tel & Fax : 39-06-48913949
e-mail: roma@rk-euro.org

Rissho Kosei-kai of the UK

Rissho Kosei-kai of Venezia
Castello-2229 30122-Venezia Ve Italy

Rissho Kosei-kai of Paris
86 AV Jean Jaures 93500 Tentin Paris, France

International Buddhist Congregation (IBC)
5F Fumon Hall, 2-6-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1230 *Fax:* 81-3-5341-1224
e-mail: ibcrk@kosei-kai.or.jp http://www.ibc-rk.org/

Rissho Kosei-kai of South Asia Division
5F Fumon Hall, 2-6-1 Wada, Suginami, Tokyo, 166-8537, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 *Fax:* 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 *Fax*: 66-2-716-8218
e-mail: thairissho@csloxinfo.com

Branches under the South Asia Division

Rissho Kosei-kai of Central Delhi
224 Site No.1, Shankar Road, New Rajinder Nagar, New Delhi,
110060, India

Rissho Kosei-kai of West Delhi
66D, Sector-6, DDA-Flats, Dwarka
New Delhi 110075, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata
E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar,
Kolkata 700094, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North
AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center
Ambedkar Nagar, West Police Line Road
Rumpur, Gaya-823001, Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Kathmandu
Ward No. 3, Jhamsilhel, Sancepa-1, Lalitpur,
Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai of Singapore

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh
#201E2, St 128, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara,
Phnom Penh, Cambodia

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218
e-mail: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei-kai of Bangladesh
85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
Tel & Fax: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai of Dhaka
House#408/8, Road#07(West), D.O.H.S Baridhara,
Dhaka Cant.-1206, Bangladesh
Tel: 880-2-8413855

Rissho Kosei-kai of Mayani
Maitree Sangha, Mayani Bazar, Mayani Barua Para, Mirsarai,
Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Patiya
Patiya, sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Domdama
Domdama, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Cox's Bazar
Ume Burmese Market, Main Road Teck Para, Cox'sbazar, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Satbaria
Satbaria, Hajirpara, Chandanish, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Laksham
Dupchar (West Para), Bhora Jatgat pur, Laksham, Comilla,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Raozan
West Raozan, Ramjan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Chendirpuni
Chendirpuni, Adhunagor, Lohagara, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Ramu

Rissho Kosei-kai Dhamma Foundation, Sri Lanka
382/17, N.A.S. Silva Mawatha, Pepiliyana, Boralesgamuwa, Sri Lanka
Tel & Fax: 94-11-2826367

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa

Rissho Kosei-kai of Habarana
151, Damulla Road, Habarana, Sri Lanka

Other Groups

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai